重量選果機がお目見え

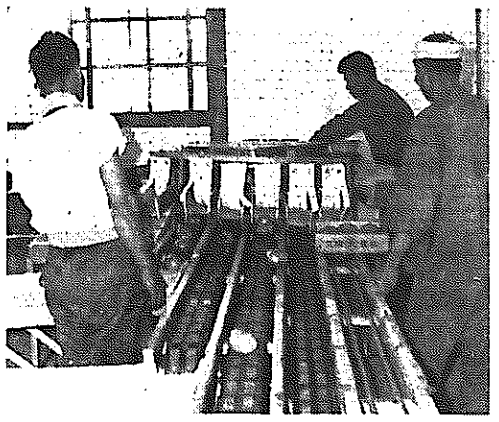
一時間に一万個を選果

一時間に約一万個を選果できるという「重量選果機」が六月一日大郷地区の下笠巻農協倉庫にお目見えし、翌二日さっそくトマトの選果を行ないました。このような重量選果機を使ってくだものを選果しているのは、佐渡で柿に使っているだけです。こんどのようにトマトを機械で選果したのは、市内はもちろん、県内でもはじめてのことです。

この機械で選果すると、人がやった場合の十倍の早さで選果でき、出荷までの時間が三時間か四時間かかるところを、この機械でやると一時間で終わります。

この機械にかけると、重さによって六段階によりわけられ、どの人がどの段階のトマトをいくつ出したかが自動的に計数機に表われ、選果をやりながら記録できるという画期的なものです。

大郷地区は、果樹栽培の技術やくだものの生産では市内でも高い方です。中でも梨は大郷梨として全国的に知られていますが、トマトは、良いものを出したわりにはあまり良い価格がつきませんでした。



選果機でトマトを選果する人たち

そこで、共同栽培、共同選果、共同出荷などに早くから目ざめ、同地区には小さいながらも集荷所がいくつかあり生産から販売までの一本化を進めてきました。

しかし、より近代化をするため、県単事業で中大郷部落に共同選果場を設置し、市場へ良いものをたくさん出荷して、市場競争を勝ち抜こうと県へ申請していました。

その機械が着いたので、下笠巻農協倉庫に臨時に取りつけ、この日トマトの選果を行なったものです。

この機械で選果されたトマトは北海道へ出荷され、つぶのそろったトマトはきっと好評を得、市場競争を勝ち抜くことでしょう。

鉛筆と

年金係

ここでは、拠出制の年金（保険料を納めてもらうもの）と福祉年金（保険料を納めずにもらうもの）のふたつを扱っています。

拠出制年金には、六十五歳になってもらえる老齢年金、十八歳未満の子どもを残して夫が死亡したときにもらえる母子年金、一級、二級のすべての障害があるときにもらえる障害年金、十八歳未満の子どもを残して両父母が死亡したときにもらえる遺児年金、妻だけを残して夫が死亡したときにもらえるカ婦年金、三年以上保険料を納めて死亡したときにもらえる死亡一時金などがあります。ただし、死亡一時金を除いた年金は一年以上納めなければもらえません。

福祉年金には、明治四十四年四月一日以前に生まれた人で七十歳になってもらえる老齢福祉年金、一級の障害で三十六年四月一日以前に障害を受けたときにもらえる障害福祉年金などがあります。

保険料を納めるときや、住所、氏名などに変更があったときは、窓口係と年金係に届け出てください。

なお、会社をやめたときや二十歳になったときは資格取得届けを、会社などに勤めて厚生年金や共済組合などの年金に加入したときは資格喪失届けをそれぞれ十四日以内にすませてください。

交通事故ゼロを目ざして

総ぐるみで交通指導

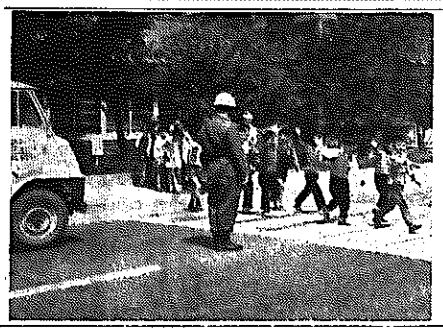
五月二十二日から九日間全国いっせいに行なわれた「交通安全旬間」は三十一日で終わりました。

期間中は〝事故ゼロ〟を目ざして交通安全協会、婦人会など市総ぐるみで、交通の指導、安全教育のPRを行ない、かってない盛り上がりがありました。

とくにことしの特徴は、①白根小中、高校の児童生徒がはじめて国道で横断歩道の実地訓練を行なった②各家庭へ「安全運転、正しい歩行」の標語をくばったり、フイルム二本を買って映写会を開いたりして安全教育のPRにつとめた、ということです。

旬間をとおして感じたことを梅沢白根警察署長から聞いてみました。

若い人より年輩者の歩行が悪かった、高校生のマナーは良かった、自転車の二列運転が目についた、旬間中に安全教育がPRできたのでこれからは交通ルールを守り事故をゼロにしてもらいたい。



国道八号線で歩行の練習をする児童

子どもを水から守ろう

〝夏〟それは海に山に楽しさがいっぱいの季節です

ところが、楽しいはずの夏がともすると「健康がすぐれなかった」などのため不愉快にすごしたということにもなりかねません。

そこで、夏を快適に過ごす「コツ」を紹介してゆきます。

○つゆにはいります。このころは食べ物がくさりやすくなるので食中毒には充分注意してください。

○ほこりや汗のため「ひふ」はつねに不衛生な状態にあります。はだ着は風通しのよい木綿ものを使って、まめにせんたくをしましょう。とくに赤ちゃんの下着には気をくばってください。

○食欲がなくなったり、胃腸の活動がにぶり、ビタミン類が欠乏したりするのもこの季節です。食欲をそそるように香辛料をうまく入れるのもひとつの方法です。

○食中毒や伝染病を防ぐには台所を清潔にして、ゴキブリ、ハエ、カなどを退治してください。

○戸だな、押し入れのすみがカビ臭くなってっいませんか。

このような場合は茶がらを充分乾燥させ、すみに入れておくと臭いは防げます。

また、くみ取り便所の悪臭は、夏ミカンの皮やキリの葉をきざんで入れておくと防げます。

夏を快適に

～食中毒に気をつけて～

父兄の意見

給食試食会

五月二十日(土)白根小学校は新入生の父兄を対象に「給食の試食会」を行ないました。

これは、父兄から、子どもたちは毎日どんなものを食べているのかを知ってもらったり、給食についての意見を聞いたりするために行なったものです。

試食会に参加した約八十人のおかあさんたちは、試食の前に市の栄養士さんがつくった給食の資料「市販のパンと給食のパンの力くらべ」と「弁当と給食のちがい」などを見て「好き嫌いを問わず給食を食べさせなければ」と給食の栄養価をあらためて認識していました。

このあと、試食にうつり食べたほとんどのおかあさんたちは「おいしくて良かった」とその感想を述べていました。

なお、この日でた意見のうちふたつを紹介します。

◇一年生には量が多すぎる

◇パンを小さくして味をつけては

一年生には量が多い

ご協力ありがとうございました

〝こまっているかたに役立ててください〟と市福祉事務所へつぎのかたから善意が届きました。ありがとうございました。

五月三十一日現在

▽千円＝一老人　千円＝近藤熊次　三百円＝鷲尾精治　四千円＝ゴールデンサウンズ

農地相談室

七月の農地相談室をつぎのとおり開きます。

7月	駐在室
17日	鷲巻
18日	白井
19日	庄瀬
20日	新飯田

ツユが明けるといよいよ本格的な〝水泳シーズン〟にはいります。

そして、このころになるときまって水死者が増え、新聞テレビなどで報道されます。

そのたびに「ことしこそは水死者をゼロに」と警察、学校などの関係者は全力を上げてその対策にあたります。

しかし、関係者がいくら全力を上げても水死者は毎年増える一方です。水死者をゼロにするには家庭や子どもから危険な場所へは絶対に近よらないということを守ってもらうより方法がありません。

ことしにはいってこどもがひとりすでに水死しています。つぎの注意事項を守り、これ以上水死者が出ないようみなさんの協力をお願いします。

1.水死事故は家庭付近の小川、用水、池などに多い。危険な場所には近よらせない。

2.ため池など危険な場所には金網やさくをしておく。

3.幼児だけで遊ばせない。

4.準備体操をしてから泳ぐ

〝〃〃〃